

オーラル・ヒストリーのデジタルアーカイブと教育利用

谷 里佐 (岐阜女子大学)

オーラル・ヒストリー（口述歴史）は、個人や組織の経験を聞き取りし、記録に残すものであり、文字を持たないところからの重要な伝達方法であり、貴重資料である。しかし、記録としては、語り手の口調や言葉のニュアンスなどを文字では表現し難いことなどに起因する正確さへの指摘もなされてきた。これらは、語り手の口調や身振り手振りを動画で記録するデジタル化と、語りの関連資料を構成するデジタルアーカイブによって、解消できるようになった。

岐阜女子大学では、これまで、いくつかのオーラル・ヒストリーのデジタルアーカイブに取り組んできた。その中から、「和田家オーラル・ヒストリーデジタルアーカイブ」の事例を紹介する。

(1) 「和田家オーラル・ヒストリーデジタルアーカイブ」の伝統・文化教育への利用

伝統・文化教育の教材について、文部科学省は、「先人の生き方、自然、伝統や文化などといった人に感動を与える美しさや強さを浮き彫りにした題材を活用することが必要」（中教審・初等中等教育分科会第55回「教育内容に関する主な改善事項」）としている。人の思いや経験を伝えるオーラル・ヒストリーは、その点で、教材として適している。そこで、本学が、2000年ころにすでに取り組んでいた白川郷和田家前当主のオーラル・ヒストリーの記録の知見を踏まえ、現当主和田正人氏のオーラル・ヒストリーの記録とその教材化を行った。

オーラル・ヒストリーの記録では、世界遺産である白川郷や国の重要文化財である和田家という文化財としての歴史的背景も重要であるが、歴史的な説明のみでなく、和田氏自身のその場所に関する子どものころの思い出や先人の知恵とその伝承を大切にされている気持ちを軸に記録するよう留意した。

そして、そのオーラル・ヒストリーの記録を軸に、伝統・文化教育教材『和田先生と学ぶ白川郷和田家』を作成した。

『和田先生と学ぶ白川郷和田家』では、オーラル・ヒストリーで触れられている場所の説明文と写真とをまとめた冊子から、二次元コードにより、ご当主のオーラル・ヒストリー映像へとリンクさせている。

本教材を利用した小学生の感想（実際の文章ママ）では、

- ・本を読んでみて、写真とか文しょうがくわしく書いてあって、白川ごうにいったとき、いまこの家のここにいるんだなど写真がついていたのでよくわかりました。
- ・文章の上や下に文章とかかわった絵がのっててすごく分かりやすく、白川ごうへどんどん行きたいという気持ちが強くなった。
- ・本の中のものについている建物や方水じゅうをたしかめながら行くことができました。
- ・ほうすいじゅうのときのあけたところがすごかったです。



図 表紙（左）と小学生の感想に多く触れられていた放水銃のページ（右）

小学生の感想に多く触れられていた放水銃は、現地では普段見ることができないが、二次元コードのリンクから和田氏の語りとともに映像で見ることができる。このように、現地で現物を見ることが難しいものを記録し、提供できることはデジタルアーカイブならではの、である。

（2）許諾処理

本学で、これまで取り組んできたオーラル・ヒストリーのデジタルアーカイブについては、教育利用が可能となる許諾処理を行っている。

『和田先生と学ぶ白川郷和田家』においては、開発、利用した資料データは、すべてクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの CC-BY4.0 によりオープンデータとして提供できるよう許諾処理を行った。岐阜女子大学のクレジットの明記は必要であるが、調べ学習での利用はもちろん、教員の授業資料作成にも自由に利用できる。教育利用においては、著作権法で自由利用が認められる場面も多いが、より自由な利用を可能とするためには、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスなどの適用が必要であると考えます。

（謝辞）和田家オーラル・ヒストリーのデジタルアーカイブでは、白川郷和田家当主和田正人氏に継続的なご支援をいただいております。深く感謝いたします。